

発達障害テーマに書籍を執筆

発達障害の青年の半生をノンフィクションで描いた書籍「ギザギザハートのアスペルガー」が昨年12月に発売された。著者は、青年の担当薬剤師だった臼井志乃さん。昨年、高知県の精神科病院を退職し、薬剤師の就職支援サービスを手がける会社を立ち上げた。発達障害を抱える人の就職マッチングも視野に入れる。臼井さんは薬局から急性期病院、精神科病院などへと転身を重ねてきた。自身の人生を「ビルド・アンド・スクラップ」と振り返る。今後は、病院への就職を希望する薬学生らと現場をつなぐ橋渡し役を担う考えだ。

スイッチ・エージェンシー 臼井 志乃さん



同書は、自閉スペクトラム症・アスペルガー症候群(ASD)の青年、中原慎太さん(仮名)を主人公にしたノンフィクション。

中原さんの手記をベースに臼井さんが解説を加えた。憎しみをエネルギーにして生きる青年が、人生に希望の光を見出すまでの過程が描かれている。

2人が出会ったのは2017年。臼井さんが当時勤務していた高知県の精神科病院で退院時服薬指導を担当した。臼井さんは、当時の青年の様子を「目も合わない。何を考えているかわからない。複雑な家庭環境などが原因で、外部との関係を遮断していた」と振り返る。

約1年半後、院内のデイケアで中原さんに再会。人に優しく接する様子を見て驚き、変化の理由を尋ねると「友人との再会、デイケアでの人との触れ合

いなどがよかった」と答えが返ってきた。中原さんの心には「自分の経験を生かして、世の中の役に立ちたい」という意志が芽生えていたという。

書籍出版は偶然の積み重ねで決まった。仕事一筋で生きてきた臼井さんは大学進学を控える1人娘との時間をつくりたいと考え、昨年3月に思い切って病院を退職。時間に融通の利く個人事業主としての活動を模索していた。

そんな時に、ある県議会議員と出会い、精神科病院での経験を伝えると「シンポジウムで話さないか」と提案を受けた。臼井さんは中原さんに「2人で話そう」と声をかけ、打ち合わせを重ねた。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でいっこうにシンポジウムは開催されない。そこで、中原さんの手記を出版することを思いつき、議員に紹介してもらった地元出版社で書籍の出版が決まった。既に増刷が決まるなど売れ行きは好調だ。



著者で薬剤師の臼井さん。人形のモデルは主人公の青年

病院で出会った青年が主人公

書籍に込めた思いを「引きこもっている人でも本なら読んでもらえる。一歩踏み出す勇気のない人の背中を押したい」と語る。

中原さんが回復していく様子を臼井さんの視点から解説するページも多い。「発達障害は薬が少なく、薬物治療に関わりにくい。薬剤師がそこに深く関わることができた貴重な事例だと思う。薬剤師にも様々な形で、できることがあると伝えたい」と話す。

(12ページへ続く)

就職準備特集号Ⅱ



新卒生限定 10泊12日
ハワイ研修実施！ 2021年5月中旬！

関西圏を中心に全国へオレンジ薬局を展開

初年度年収

450～550万

希望店舗での勤務OK！働き方次第で高収入も可能！あなたの頑張りを評価します！

- (株)プチファーマシスト
- (株)オレンジファーマシー
- (株)東京オレンジ薬局

全国に133店舗展開中！！

渋谷駅前店・広尾店・池袋西口店・永田町
中津店・阿倍野店・芦屋店・菊川店・北浜店

インターンシップ参加者募集

オレンジ・元気薬局

検索



薬剤師
国家試験
対策.com

薬剤師を目指す薬学生のための
国家試験対策支援サイトです



ご登録・ご利用完全無料

be89314

検索